

令和3年度 第1回 鳴門高等学校学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和3年6月15日（火） 10時から12時まで

2 場 所 鳴門高等学校 視聴覚室

3 会 議

(1) 開会

(2) 自己紹介

(3) 任命

学校長より学校運営協議会の各委員へ任命状が配付された。

(4) 学校長挨拶

① 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の概要について

学校長から学校運営協議会の概要の説明があった。また現在の本校の課題、めざすべき方向性への連携を求めた。

② 本校の現状について

学校紹介動画を視聴し、現状を説明するとともに、学校案内、校誌「潮流」を紹介した。

③ 役員の選出について

会長に村澤普恵様、副会長に横田校長が承認された。

(5) 協議

① 令和3年度の学校経営方針・教育課程の編成・学校評価総括評価表について

- ・学校経営方針について、横田校長より説明し、承認された。
- ・教育課程について、全日制斎藤教務課長、定時制馬場教頭より説明し、承認された。
- ・学校評価総括表について事務局が説明した。

委員より、ボランティア学特講の拡充や職員の働き方改革について意見をいただいた。

② スクール・ミッションについて

今年度より新しく設定されたスクール・ミッションについて事務局が説明した。

③ これまでの地域との連携について

地域連携実態調査(教職員・生徒対象アンケート)の結果について事務局が説明した。

④ 熟議 (ファシリテーター：國吉 (鳴門教育大院生))

目標・ビジョンを共有するため、次のテーマについて熟議を行った。

テーマ：鳴門高校のスクール・ミッションに提示されている「グローバルな視点をもって、地域社会に貢献するために必要な力」とはどのような力か？

各委員から「グローバルな視点をもって、地域社会に貢献するために必要な力」について、次のような意見をいただきました。

- ・必要な力は、課題を発見する力、課題を他者と協力して解決する力、地域の課題を世界の課題に結びつける力であると思う。
- ・必要な力は、コミュニケーション力、相手の意見を聞く、自分の考えを話す力、説明できる力であると思う。
- ・必要な力は、多様性を認め、多様な価値を理解し、地域社会の課題を明確に把握し、自分の持っている能力・スキルを課題解決のために有効に使える力、人の話を聞く力、現状を正しく見る力、自分の思いを正しく伝える力、思いを行動に移せる力であると思う。
- ・鳴門高校のランドデザインに描かれている「夢をかたちに」ができるかどうかである。
- ・鳴高生・教職員自らが「誇り」を持つことが重要である。母校に誇りを持つことで、地域社会に貢献しようとする意識が芽生える。
- ・鳴門教育大学との連携やICTの活用により、グローバルな視点をもって地域社会に貢献する。
- ・自分自身で「考える力」を育てる。SDGsの活動として具体的な行動を考え実行する。地域との「つながり」を常に意識する。インターンシップは有効な活動である。
- ・世界や日本の現状を知り、また歴史を学び、地域の課題を見つけて、自分ができることをする。またそのような力を養うことが大切である。
- ・自分ができることを理解し、様々な場面で無理をせずに、地域と繋がってほしい。若い力が加わることで地域も活性化する。

(6) その他

- ① 第2回学校運営協議会(11月の予定)について連絡した。
- ② 委員のみなさんから、鳴門高校生へのひとこと(コミュニティ・スクールについてや鳴門高校生へのメッセージ等)をメッセージシートに書いていただいた。

(7) 閉会